

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587011303	科目番号 / Course code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Course title	b6企業行動と戦略COC / Organizational Decision Making and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	成田 真樹子 / Narita Makiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	makki_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 511研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	経済活動は国境を超え、グローバル化が進展している。その環境の中で、企業も戦略を練っていか なければならない。本科目では、グローバル化に伴う企業行動について、事例を交えて考察する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県内の課題を整理して問題点とその解決策を発表できる (, ,)。 ・国際的な問題とそれに関連した事象についての現状と課題を把握し、説明できる (, , ,)。 ・企業の投資環境について把握し、課題を議論できる (, , , ,)。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1. 授業中の提出物, グループ学習の貢献度, プレゼンテーション (50%), 2. 期末試験 (50%)。 ただし, 1による評価が著しく低い場合には期末試験の受験資格を失う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 授業中に指示する。 復習: 授業やグループ学習の内容を復習し, 理解を深めること。 (予習, 復習合計で4時間)		
キーワード/Keywords	グローバル化, 国際ビジネス, カントリーリスク, 長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。資料を配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	ガイダンス
第 2 回	世界経済の動向と課題
第 3 回	貿易
第 4 回	貿易
第 5 回	貿易
第 6 回	国際投資
第 7 回	企業の国際化
第 8 回	企業の国際化
第 9 回	企業の立地
第10回	企業の立地
第11回	カントリーリスク
第12回	カントリーリスク
第13回	長崎の企業立地
第14回	長崎の企業立地
第15回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587011703	科目番号 / Course code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Course title	b6社会制度と経済活動 / Social System and Economic Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori, 成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yoshizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 510号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後20分程度		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>・経済学のうち価格理論と呼ばれる分野の基礎的な内容を学ぶ。また、経済学の学習を進めるのに必要な微分法についても学ぶ。</p> <p>・需要と供給、その背後にある消費者行動の理論と企業行動の理論、競争市場と市場均衡、市場機構と効率性について基本的な事項を学ぶ。</p> <p>・第1回はオリエンテーションと経済学の考え方について俯瞰する講義を行い、第2回に経済学の学習に必要な微分法を学ぶ。第3回から第5回は消費者行動の理論について学ぶ。第6回から第8回にかけて企業行動の理論について学ぶ。第9回から第12回は市場均衡について学ぶ。第13回から第14回は市場の失敗を学ぶ。第15回はこれまでのまとめをし、第16回に定期試験を行う。</p> <p>・授業内容を変更する場合があるが、その場合は授業中に説明を行う。</p>		
授業到達目標/Course goals	経済学の基礎となる価格理論の専門知識と知的技術の基礎を身につけ、活用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験のみ。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	第2回までは参考書のうち『改訂版 経済学で出る数学』を中心に講義を進める。また、第3回以降は『ミクロ経済学の力』を中心に講義を進める。 【予習】参考書の関連箇所を読み、分からない箇所を明確にしておくこと(2h)。 【復習】講義資料を復習するとともに、『ミクロ経済学の技』で問題演習に取り組むこと(2h)。		
キーワード/Keywords	需要と供給, 消費者行動の理論, 企業行動の理論, 競争市場と市場均衡, 市場機構と効率性。 教科書は特段指定しない。		
教科書・教材・参考書/Materials	【参考書】 ・神取 道宏 『ミクロ経済学の力』日本評論社, 2014年。 ・神取 道宏 『ミクロ経済学の技』日本評論社, 2018年。 ・武隈 真一 『演習 ミクロ経済学』第2版 (演習新経済学ライブラリ=1), 新世社, 2017年。 ・尾山 大輔, 安田 洋祐編著 『改訂版 経済学で出る数学』日本評論社, 2013年。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	<ul style="list-style-type: none"> ・神取 道宏『ミクロ経済学の技』日本評論社、2018年。 ・武隈 真一『演習 ミクロ経済学』第2版(演習新経済学ライブラリ=1)、新世社、2017年。 といった問題集での演習を勧める。
学生へのメッセージ / Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・特に第2回目までの内容が理解できていないと、その後の授業がまったく理解できない場合がある。 ・第2回目までの内容は経済数学の書籍等で復習をすること。 ・漫然と講義を聞いているだけでは、経済学の考え方を身につけることはできない。自主的に教科書以外の関連書籍を読み、自主的に演習問題を解くように心がけること。 ・1変数関数の微分法については既知とする。不安な者は、高校程度の数学はおさらいしておくといい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、ミクロ経済学の考え方。
第2回	多変数関数の微分。
第3回	消費者行動の理論(1)。
第4回	消費者行動の理論(2)。
第5回	消費者行動の理論(3)。
第6回	企業行動の理論(1)。
第7回	企業行動の理論(2)。
第8回	企業行動の理論(3)。
第9回	市場均衡(1)。
第10回	市場均衡(2)。
第11回	市場均衡(3)。
第12回	市場均衡(4)。
第13回	市場の失敗(1)。
第14回	市場の失敗(2)。
第15回	これまでのまとめ。
第16回	定期試験。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587012104	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	b6経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林川 万理水 / Hayashikawa Marina, 成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (方淵キャンパス) 本館610号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6386		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日16:10-17:40 (メールもしくは講義前後に要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業は外部に向けて経営状況を報告する義務を負うが、一連の企業レポートがどのように行われ、投資家がそれをどのように活用して経済的意思決定に組み込むのかを行動実験を基にした学説を通じて学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	変化し続ける社会環境において、最適解を見つける社会科学の特徴と意義を理解し、企業開示問題を題材としながら問題解決する能力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中のグループワーク (30%)、期末レポート (50%)、その他ディスカッション参加度など (20%) による評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書理解の部分は予習復習。 グループワークの作法を学習した後、講義外で練習を行う。		
キーワード/Keywords	財務諸表、企業報告、任意開示、戦略マネジメント、投資意思決定		
教科書・教材・参考書/Materials	内藤文雄 『会計学エッセンス第4版』中央経済社、2019年。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	自ら考え動く主体的単度を要する。また、講義内容の理解は、初回からの知識の蓄積により達成されるものであり、グループワーク実施にも一定の共有知識が必要である。そのため毎回出席して理解を高める必要がある。		
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)	講義のグループワークを始める前に、コーチングとファシリテーションの作法を少し話します。初めての方には、新鮮な体験ワークとなります。学び方の学びです。傾聴技法 (active listening)、他者感知、質問技法、つまり「聴く」「感じる」「伝える」の一連主体的反応の訓練を通して、学友との刺激の中で自らの解を練り上げる訓練をします。		

学生へのメッセージ/Message for students	答えのない問を考え続ける楽しさを体験してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	N/A
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション 会計とは何か 財務報告と監査の役割
第2回	社会科学としての会計学(1) シャムサンダー氏講演録「想像の中の会計という世界」の読解と問題提起の理解
第3回	社会科学としての会計学(2) 功利主義哲学と社会科学の関係?マイケルサンデルの問題提起を参考に
第4回	社会科学としての会計学(3) コストベネフィット分析と会計諸問題
第5回	財務報告の国際的動向(1) 財務報告の目的変遷?会計説明責任と投資意思決定支援
第6回	財務報告の国際的動向(2) IFRSの組織変遷とアドプション問題の概要
第7回	会計監査の諸問題(1) 厳格監査と馴合監査 ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク?
第8回	会計監査の諸問題(2) 銀行と監査 ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク
第9回	会計監査の諸問題(3) ベンチャー企業と監査 ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク
第10回	投資意思決定上の諸問題(1) 財務情報と非財務情報 グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第11回	投資意思決定上の諸問題(2) 強制開示と任意開示 ?グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第12回	投資意思決定上の諸問題(3) 投資家との新たなコミュニケーションツールの創造 グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第13回	任意言開示意思決定上の諸問題(1) プロプライエタリーコストと開示意思決定 グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第14回	任意言開示意思決定上の諸問題(2) 評判マネジメントと開示意思決定 グループワークを通じての経営意思決定の体験?
第15回	任意言開示意思決定上の諸問題(3) 財務トレンドと任意開示量の関係 グループワークを通じての経営意思決定の体験?
第16回	定期試験